



使用画像：『明朝紫雲』(国文学研究資料館蔵)
DOI : <https://doi.org/10.20730/200014504>

ワークショップ デジタルアーカイブ 模写派！体験

■トークセッション | 松平莉奈氏×入口敦志氏 司会 有澤知世

模写学習を通して得たものについて語り合ってください。

■ワークショップ | デジタルアーカイブ模写派！体験

松平氏の指導のもと、近世期に出版された絵手本のデジタルアーカイブ画像を活用し、筆と墨を使って模写体験を行います。

主催：神戸大学人文学研究科・文学部（人文学推進インスティテュート）

共催：基盤研究（A）日本文学及びその関連分野のデータ駆動のためのテキスト形成の総合研究」（代表：国文学研究資料館・入口敦志）

問い合わせ先 樋口大祐 (hdais041122[AT]yahoo.co.jp) ※[AT]は@に変換。

講師プロフィール

松平莉奈氏

画家、京都芸術大学講師。2014年、京都市立芸術大学大学院美術研究科（日本画）修了。日本画や東アジアの絵画の画材や技法をベースに、史実や物語、歴史上の人物などを題材に「他者について想像すること」をテーマとした具象画を制作する。近年の主な展覧会に、個展「コードとモード」埼玉県立近代美術館（2025）など。2018—2020年、国文学研究資料館のAIRプログラム「ないじえる芸術共創ラボ」に参加。

入口敦志氏

国文学研究資料館教授、副館長。九州大学大学院博士課程を退学、その後2009年に同大学にて博士号を取得。1995年より国文学研究資料館に勤め現在に至る。日本近世文学を専攻。特に17世紀の学芸と出版を中心に、東アジアでの位置づけを考慮しながら研究をすすめている。

2025年8月5日（火）
13：20～16：40

会場：神戸大学六甲台第二
キャンパス文学部B331

参加申込み
フォーム

申込締切
7/27 18時

